学びの多様化学校の設置促進プロジェクト

基本目標２　ひとや企業とのつながりを築く

■事業の課題・目的

さまざまな理由で学校に行きづらさを感じている児童・生徒が増加し、従来の学校や支援体制では学びを継続できない子どもたちも増えています。そんな子どもたちが安心して学べる環境を整えるため、県内初の本校型※の学びの多様化学校「悠志学園」を設置しました。

不登校の子どもたちの新たな選択肢として、彼らが学びを継続できるよう一人ひとりに寄り添ったアプローチをしていきます。

※本校型：単独の校舎を設置

■事業内容



【志布志市立学びの多様化学校の目指す学校の姿】
「ゆっくり じっくり ともに 未来へ」
～子供の多様性や主体性を尊重し、人とのつながりを大切にしながら、子供たち一人一人に応じた学びを支援します～

・年間授業時数を減らし、校時表にゆとりを
・登下校時には、リラックスタイムを
・誰でもフランクに心の交流や学びの交流ができるような環境づくり

■なぜ寄附を募るのか

令和８年４月に開校し、学校に行きづらさを感じている子どもたちが安心して学ぶことができています。

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、公認心理士等による相談を気軽に行える環境や、個別学習コーナー、グループ学習コーナー、センサリールーム等の自分に合った学び場を選択できる施設設備を備えています。

整備して終わりではなく、引き続き、児童・生徒が安心して学び、成長していけるよう、多様なニーズに応じた環境を継続して整備していく必要があり、そのためには皆様の支援が不可欠です。



■メッセージ

「学校に通えない子どもをなくしたい」

そんな誰一人取り残さない想いを胸にプロジェクトに取り組んでいます。子どもたちが未来へ大きく羽ばたくために、私たちは整備を進めていきます。

将来、子どもたちが精神的にも経済的にも自立し、豊かな人生を送れるようサポートするため、ぜひ、このプロジェクトへのご支援をお願いします。